

客観的臨床能力試験(OSCE)について

クリニカルラダーは、「看護実践能力」「組織役割遂行能力」「教育研究能力」の3つの構造から成り立っています。昨年度まで、ベーシックレベルⅠ・Ⅱ・Ⅲの受審者の「看護実践能力」の評価のために看護技術テストを行っていましたが、今年度からOSCEを実施します。

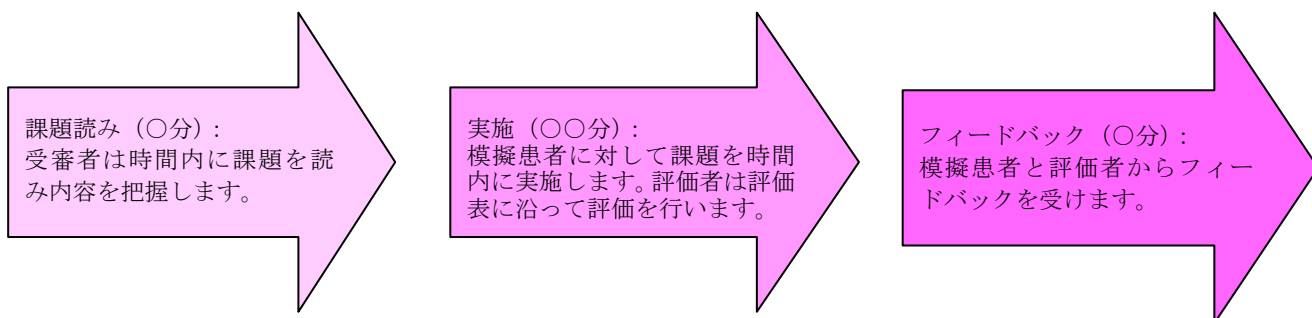
OSCEとは、objective structured clinical examinationの頭文字を取ったもので「客観的臨床能力試験」と訳されます。ペーパーテストによる知識のみの教育ではなく、判断力・技術力・マナーなどその実際の現場で必要とされる臨床技術の習得を、適正に評価する方法として注目されています。手順通りに実施できるレベル技術では、実際の現場で活用するには不十分です。「場」や「状況・状態」を判断し、対象に配慮しながら実施できることが不可欠です。その実践能力を問うことができると言われています。

OSCEの構造

1. booth (小部屋) を設置し、課題を設定します。booth はできるだけ病室環境に近づけるように物品等を準備します。
2. 標準模擬患者 (standardized patient:SP) : ある疾患の患者のもつあらゆる特徴 (単に病歴や 身体所見にとどまらず、病人特有の態度や心理的・感情的側面に至るまで) を可能な限り模倣するよう訓練を受けた健康人をいいます。どの人が演じて与える情報が同じになるように標準化や模型 (simulator) を用います。

OSCEの流れ

受審者1名に対し評価者2名、模擬患者1～2名で構成されています。受審者は以下のような流れで受けます。



クリニカルラダーベーシックレベルⅠのOSCE

9月22日のレベルⅠ受審者のOSCEを実施しました。今年度は、スキルスラボ&第3講義室を区切り、複数のboothを設置し、模擬患者は、キャリア支援委員会の師長さん・副師長さんにご協力頂きました。課題は、複数患者ケア (インスリン投与が必要な患者・疼痛を訴える患者) 設定しました。

各病棟の師長さんをはじめスタッフの皆様のご協力のもと、日勤の時間内でしたが、全員が試験時間に遅刻することなく受けることができました。ありがとうございました。レベルⅡは10月7日、レベルⅢは11月1日です。引き続きご協力をお願いいたします。



フィードバック中